

特定非営利活動法人アンダーオータースキルアップアカデミー

令和7年11月期 事業報告書

1 事業の成果

(公社)日本水難救済会の救難所としての活動が10年目を迎え、関係機関との連携を一層深めながら、水難救助体制の強化と信頼の構築に努めてきた。こうした継続的な活動実績が評価されたこともあり、救助機関の水難救助隊員を対象とした潜水技術研修の受講者数は、昨年度の7名から今年度は13名と増加し、関係機関の水難救助隊員の技術向上に大きく貢献できた。

また、環境保全活動の一環として、今年度より環境保護団体「MORE企画」が主催する水中清掃活動に協力し、各地で実施された水中清掃活動において安全管理及び実働部隊として積極的に参画した。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

事 業 名	事 業 内 容	(A) 当該事業の実施日 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数
① 水難救助に関する事業	水難救助活動	(A) R.6年12月～R.7年11月 (B) 伊豆半島全般 (C) のべ45人	(D) 海中落水者・潜水事故者 (E) 救助者11人
	関係機関との合同水難救助訓練	(A) 7/25・8/8・9/29・10/23・11/25 (B) 伊東市城ヶ崎海岸・東伊豆町北川港・松崎町雲見港・熱海港 (C) のべ26人	(D) 水辺を利用する市民 (E) 不特定多数
	救助員のスキル向上訓練	(A) 7/7・11/12 (B) 伊東市伊豆海洋公園・赤沢港 (C) 4人	(D) 当法人の救助員・消防水難救助隊員 (E) 28人
	救助機関の救助員向け潜水技術研修の開催	(A) 12/2～5・10/6～11 (B) 東伊豆町稻取・伊東市伊豆海洋公園・伊東市赤沢 (C) 14人	(D) 全国の消防の水難救助隊 (E) 14人
	水難事故対策に関する関係機関との連絡会	(A) 4/22・4/25・6/4・9/4・9/10・11/11 (B) 沼津市・下田市・伊東市・東伊豆町・清水市 (C) のべ19人	(D) 水辺を利用する市民 (E) 不特定多数

事 業 名	事 業 内 容	(A) 当該事業の実施日 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者的人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数
② 災害発生時の水際における救援・復旧事業		なし	
③ 被災後の水産業等復興支援事業		なし	
④ レジヤーダイビングの安全を図る事業	減圧症に関する合同勉強会	(A) 3月27日 (B) 順天堂大学医学部附属静岡病院&オンライン (C) 1人	(D) ダイビング事業者・消防救急隊員及び医療関係者 (E) 100人以上
⑤ 水辺の環境保全を図る事業	MORE企画主催の港内の水中清掃を事故防止や減災のために合同で実施（伊東市SDGs推進事業 連携事業）	(A) 3/18 (B) 伊東港 (C) 11人	(D) 水辺を利用する市民 (E) 不特定多数
	MORE企画主催の港内の水中清掃を事故防止や減災のために合同で実施	(A) 10/15・10/16 (B) 西伊豆仁科港・伊豆市大藪港 (C) 2人・6人	(D) 水辺を利用する市民 (E) 不特定多数
	ロータリークラブ・PADI AWARE主催の港内の水中清掃を事故防止や減災のために MORE企画と合同で実施	(A) 6/24 (B) 伊東港 (C) 11人	(D) 水辺を利用する市民 (E) 不特定多数